

平成 30 年度 東 4 丁目線（いとなみの軸）実証実験結果報告

(概要)

本実証実験は、サッポロファクトリーフロンティア館横スペース（北1条東4丁目）を歩道に見立てることで、歩行空間が広がった道路をイメージし、憩い・交流の場を創出するためのベンチを設置したほか、創成東地区の歴史や町内会活動を紹介するパネルを展示。また、今後の東4丁目線のイメージ等に関するアンケート調査を実施しました。

(実施概要)

月日	時間	近隣での 大型イベント	内容		
			ベンチ設置	パネル設置	カフェ(試飲)
10月11日(木)	9:00~17:00	なし	○	○	○
10月12日(金)	9:00~13:00 ※荒天のため午後中止	なし	○	○	—
10月13日(土)	9:00~17:00	あり (ファクトリー西広場)	○	○	○
10月14日(日)	9:00~13:00 ※荒天のため午後中止	あり (ファクトリー西広場)	○	○	—



(実証実験・検証調査を通じて得られた結果)

1) 来場者の評価・意向 [アンケート調査：期間中4日間実施、回答者187件]

○来場者の評価は概ね高評価で継続希望が9割強、「歩行空間を広げ、もっと歩きやすい通りになればよい」と考える人は7割前後

—今後も今回のような仕掛けが「あればよい」「どちらかといえば、あればよい」との回答は合わせて9割超あり、高評価が得られた。

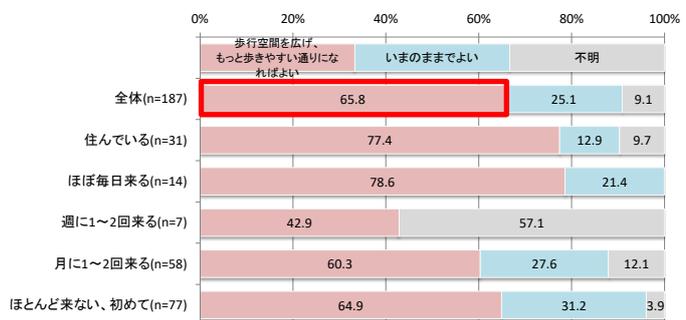
—「居心地がよく、ゆったりとした時間を過ごせた」「いつもと違う風景やにぎわいを感じられ、歩いて楽しめた」「創成東のまちづくりに関心を持ち、まちの歴史・活動を知ることができた」などの感想が得られた。

—「歩行空間を広げ、もっと歩きやすい通りになればよい」と考える人は7割前後で、「現状のままでもよい(3割前後)」を大きく上回る結果となった。

Q.今後もこのような仕掛けがあればよいと思えますか



Q.東4丁目線について



2) 滞留状況

[滞留状況調査：期間中 4 日間実施]

○滞留者数は 12 時前後と 15 時台で増加傾向、人の往来が少ない場所、鑑賞物がある場所で滞留者が多くなる傾向がみられた

- 滞留者数は、12 時前後で飲食や休憩、15 時頃では休憩での利用が多くなった。
- 滞留者の性別をみると、おおよそ 6：4 で女性の比率が高い。
- 滞留行動は、交差点やファクトリーフロンティア館入り口がある実証実験エリアの南側では少なく、北側及びパネル展示のあった中央部で多い。鑑賞するものがあること、また人の往来が少ない落ち着いた空間で滞留行動が促されたと考えられる。



3) 通行量

[通行量調査：期間中の平休日 2 日間、翌週の平休日 2 日間実施]

○平時の通行量は平・休日とも 50～200 人程度、近隣イベント時はピーク時で 800 人程度に増加

- 平日は時間当たり 50～200 人の通行量があり、通勤時の 9 時台・昼食時の 12 時・下校時間にあたる 15 時台に多くなる傾向が見られた。
- 平時の休日では常に時間当たり 100～200 人、イベントのある時では 12 時前後を中心として平時のほぼ 4 倍にあたる 800 人の通行量がみられた。

